

いなむら市長の「い～なこの街 尼崎」 9月

テーマ：舞台は兵庫へ、平清盛と尼崎

DJ(林)

さて、今回は、「舞台は兵庫へ、平清盛と尼崎」についてお話をうかがいたいと思います。今年のNHKの大河ドラマ「平清盛」、稲村市長はご覧になっていますか。

市長

はい。娘と夫と一緒に、家族みんなで見ています。

DJ(林)

そうですね。ドラマでは、当初は、武士が「王家の犬」と言われていて、朝廷の命令で盗賊の追討などを引き受けていましたが、今や、平氏は武力、財力を背景に国政に携わるようになって、栄華を誇る姿が描かれていますね。

市長

はい。ドラマも今ね、すごく面白くなっているんですけども、平安の末期、治安が乱れ、貴族政治が混迷していた時代に、平家の御曹司として育った清盛が、時代の急展開の中心で逞しく成長する姿は、本当に見ごたえがあります。清盛は、武士として初めて公卿として貴族政治に参画をして、太政大臣にまで登りつめると同時に、平家一門をみんな要職に就けていくんです。これまで平氏はどちらかというと、アンチヒーローとして描かれることが多かったんですけども、この大河ドラマでは、貴族社会に対して、団結して時代を切り開いていく平氏の魅力的な、そういった側面が描かれています。

DJ(林)

そうですね。そして、わずか3ヶ月で太政大臣を辞任して、熱病を患った後の清盛は、福原、今の神戸市に移り住みましたね。舞台が兵庫県内に移ってきました。

市長

そうなんですよね。清盛が移り住んだ福原というところは、重要な港である大輪田泊の近くで、中国との貿易を推進する陣頭指揮をとろうとしたのだらうと言われてます。

DJ(林)

遣唐使が廃止されて300年弱、外国との公的な接触がなかった時代ですよ。

市長

はい。清盛は、父である忠盛が貿易に熱心だったこともあり、貿易こそが国を豊かにすると信じて、国際貿易都市づくりに取り組んだのだと思います。その志は、数百年後に登場する織田信長、また坂本竜馬なんかとも似ていますよね。

DJ(林)

そうですね。非常に先進的ですよ。

市長

清盛は、船が通れるよう、広島県呉市にある音戸の瀬戸を切り開くという整備をするとともに、神戸市兵庫区の大輪田泊には風よけ、波よけの目的で人工島を築き、島かげを利用して船を守るという難しい工事をして、貿易を盛んにしたと言われています。その頃、中国の船、宋船は、大輪田泊はもちろん、実は、ここ尼崎まで来ていたとされています。

DJ(林)

そうなんですか。当時、尼崎は京都と福原の間や、西日本を結ぶ重要な場所だったんでしょうね。

市長

まさにそうなんです。1180年6月、平家一門は、安徳天皇、高倉上皇、後白河法皇をともない、福原に向かいます。これが福原遷都といわれるものですが、この時には、一行が、現在の尼崎市杭瀬寺島にあった寺江亭を宿にしたんだそうです。この寺江亭は、清盛の信頼が厚かった藤原邦綱の別荘だった建物だそうです。

DJ(林)

そうですか。藤原邦綱は、ドラマでも登場していますね。

市長

そうです。寺江亭は、川から船に乗ったまま、直接邸内へ入ることができる寝殿造りの豪華な建物であったとされています。福原遷都の時の他にも、寺江亭には、京都と福原、西日本方面を行き来する皇族や貴族たちが立ち寄っている記録が残っています

DJ(林)

その寺江亭跡を訪れる、まち歩きコースがあるとお聞きしましたが、教えていただけますか。

市長

はい。そうなんです。残念ながら、今、建物は残ってはいませんが、「ご案内します。あまがさき2012」と題して、秋にガイド付きでまち歩きを楽しめるコースをご用意しています。寺江亭跡や杭瀬市場・商店街などを訪れるコースは、11月25日の日曜日に開催です。

DJ(林)

はい。その他にも清盛と関わりの深い地をめぐるまち歩きコースがあるのでしょうか。

市長

はい、あります。「尼崎・源平ゆかりの地」コースは、尼崎ボランティア・ガイドの会のご案内で、

寺町、文化財収蔵庫、そして大物主神社を散策します。

DJ(林)

そうですね。どのようなゆかりがあるのでしょうか。

市長

まず、11の寺が軒を連ねる寺町の中にある専念寺、この専念寺は、平清盛の長男、平重盛が東長洲に建立したのがはじまりと伝えられています。

DJ(林)

そうですね。重盛は、後白河上皇や貴族とのパイプ役として、父である清盛を支える存在ですね。

市長

はい。重盛は、清盛よりも先に亡くなるんですけれど、平家没落は、重盛の死をもって始まるとも言われています。専念寺は、重盛の菩提寺であるため、朱塗りの山門を許されたと伝えられています。

DJ(林)

そうですね。

市長

また、寺町の中の大覚寺、ここは『平家物語』を語った琵琶法師たちの有力な拠点寺院であったと考えられています。

DJ(林)

そうなんですね。さて次に、文化財収蔵庫は、何が見られるのでしょうか。

市長

大物遺跡の出土品を見ることができます。清盛が目指した国際貿易都市の一端を感じることができると思います。

DJ(林)

楽しみですね。

市長

当時、大物は物資輸送の中継地、そして交易都市でした。大物遺跡からは、宋から日本に輸入された白磁・青磁などの陶磁器が多数出土しています。この中には、京都、博多、鎌倉、平泉などを除き、他の遺跡からはほとんど出土していない高級品もあったとのこと。

DJ(林)

そうですか。ドラマでも輸入された陶磁器がよく映っていましたね。

市長

はい。よく使われています。陶磁器のほかにも、大物遺跡の出土品の数々が文化財収蔵庫で常設展示されています。これらの出土品は、秋に開催される特別展でも出品予定なんですけれども、後でご紹介しますね。

DJ(林)

はい。さらに、大物主神社も訪れるんですね。

市長

大物主神社は、これは清盛の亡くなった後の源平合戦の、そのまた後の話ですけれど、兄の源頼朝と対立した義経が、弁慶など家臣とともに京都から大物に逃れてきた際の隠れ家であったといわれているんです。義経は、静御前に別れをつけて、大物の浦から船出をしたとされています。

DJ(林)

それは、船で逃れる際に大風に見舞われるという、能の演目の「船弁慶」の元となるエピソードですね。

市長

はい、そうなんです。ちなみに、この船弁慶ゆかりの地、大物には、大物川野外能舞台があり、毎年8月8日に尼崎薪能が行われています。今年、私も見に行ったんですけれども、本当に素晴らしい世界を味わうことができました。今年は見逃したという方は、ぜひまた来年ご覧ください。

DJ(林)

はい。では、「尼崎・源平ゆかりの地」のコースの日程や集合場所を教えてください。

市長

日程は、10月18日の木曜日、11月15日の木曜日の開催です。午前10時に阪神大物駅の南側に集合してください。このコースは予約なしで参加できます。他にも、「公設市場と近松の里」コース、「猪名寺万葉の里」コース、「富松ひとめぐり」コースなどがあります。

DJ(林)

そうですか。夢がありますね。詳しくは、市ホームページをご覧ください。か、阪神尼崎駅北側すぐのJTB尼崎支店内にある「あまがさき街のみどころご案内所」にありますチラシをご覧ください。お問合せは、あまがさき・街のみどころご案内委員会、電話番号06-6489-6385までお願いします。

市長

はい。そして、もう一つ、お伝えしたいイベントがあります。尼崎市教育委員会収蔵資料展「清盛の時代と尼崎」です。これは、尼崎市教育委員会が収蔵する歴史資料、約130点により、平安時代末期の尼崎や、平氏と尼崎の関わりなどについてご紹介する展覧会です。もちろん、大物遺跡の出土品もご覧いただけます。

DJ(林)

はい。10月13日(土曜日)から11月11日(日曜日)に尼信会館で開催されます。入館料は無料、休館日は月曜・祝休日です。ただし、11月3日(土曜日)の祝日は開館します。

市長

清盛が大輪田泊を修築した際に、お経を書いた石、経石を海に沈めて「経が島」を築いたといわれているんですけど、神戸の遺跡からは、まだ経石は出土していないそうです。それが、大物遺跡からは、千枚近くのお経が書かれた平たい石が出土しました。これも見どころです。

DJ(林)

本当ですね。尼信会館は寺町の近くですから、まち歩きと合わせて訪れるのもいいですね。

市長

はい。ぜひ、平清盛の時代に思いを馳せつつ、尼崎の再発見を楽しんでいただきたいと思います。

DJ(林)

はい。さて、清盛の目指した福原遷都は結局、未完成のまま終わってしまったんですね。

市長

はい。結局、半年で都を福原から京都に戻すことになり、その頃から、皆さんがよくご承知の源平合戦に突入をしていきます。このあたりは、今後のドラマを楽しみにして頂ければと思います。

DJ(林)

わかりました。楽しみにしております。それでは、稲村市長、本日もありがとうございました。

市長

ありがとうございました。